

ハーセプチン(Weekly)【乳】療法

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		ハーセプチン注射用	治療のお薬です。 (初回は90分かけて点滴します)

投与スケジュール

薬品名	日数																											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ハーセプチン注射用150mg	↓						↓							↓								休						

1週間に1回注射をして3週続けて治療を行い、1週間お休みします。

ハーセプチン(Weekly)療法【乳】



よく起こる副作用

★過敏反応（ハーセプチン）

- | | |
|------|--|
| 発生時期 | 薬剤投与開始直後～24時間以内まで |
| 症状 | 発熱、悪寒があらわれることが多いです。また呼吸困難、吐き気、頭痛、倦怠感、めまい、咳などの症状があらわれることがありますが、頻度は多くありません。 |
| 対処法 | ○初めてハーセプチンを点滴する場合に起こることがあります。2回目以降は現われなくなることがほとんどです。
○上記のような症状が現れた場合はすみやかに看護師にお知らせください。 |

その他の副作用

★心機能障害（ハーセプチン）

- | | |
|----|----------------------------------|
| 症状 | 心臓の機能の低下や呼吸困難などの症状があらわれることがあります。 |
|----|----------------------------------|

副作用は薬剤ががん細胞を攻撃するときに一部の正常の細胞にも影響を与えてしまうことにより起こるものです。
もちろん正常な細胞は治療が終わればもとに戻りますし、副作用も少しずつ回復します。
副作用の出かたや、程度は個人によってさまざまであり、副作用の全てが現れるとは限りません。
大事なことは予想される副作用を十分理解し、その対処をすばやく行うことです。そして副作用があらわれた場合はもちろん、それ以外でも気になることがありましたらどんなことでも、主治医や看護師、薬剤師に相談して下さい。

医療法人敬愛会 中頭病院（薬剤部）

